<第4378回>

目的地:打越山~風吹岩(六甲山系)

担当者:山本(満田の代行)

実施日:2023年6月11日(日)

形 式:初級ハイキング

費 用:580円(阪急大阪梅田駅発着)

参加者:5名

天 気:雨後曇

行程:

阪急岡本駅 (9:33) → (10:00) 登山口手前 (10:05) →十文字山 (10:27) → (10:57) 管理道手前の谷の上部 (11:02) → 管理道 (11:06) → (11:22) 打越山 (11:35) →打越峠 (11:47) → (11:53) 七兵衛山 [昼食] (12:25) → (12:48) 横池 雌池 (12:55) → (13:00) 横池雄池 (13:15) → (13:25) 風吹岩 (13:33) →金鳥山 (14:03) → (14:07) 展望台 (14:15) → (14:32) 保久良神社 (14:40) → (14:58) 天井川公園 (15:06) → (15:15) 阪急岡本駅 [解散]

感想:

岡本駅から傘を差しての出発。「最近は雨だとすぐ中止になるから、こんな例会少なくなったね~」なんて言いながら住宅地の中を歩いて行きます。岡本九丁目の交差点から北に向かうと登り道が始まります。墓地の横を通り過ぎると急斜面にそびえ立つマンションの脇に地獄のような階段が出てきました。階段を登り終えた後も傾斜のきつい舗装道路が続きます。舗装道路の終点が宗教施設の敷地で脇の細い道から登山道に入っていきます。入ってすぐのところが標高点279mの十文字山の頂上のようですが、宗教施設の敷地なので入ることができません。山頂に気づかないまま通り過ぎて少し行くと東に入る藪に覆われた脇道があり、奥の方にかすかに謎のモニュメントが見えました。藪をかき分け確認しに行くと以前訪れた時に十文字山の山頂だと聞いていたように記憶しているそれでしたが、周りも藪だらけでみんなで立ち寄るほどの場所ではありませんでしたので、先に向かいました。そこからしばらくはなだらかな登山道が続き、谷筋に入って少し上ると森林管理道に出ます。住吉谷への分岐から少し登ると打越山に到着です。この頃には雨も止んでいました。一旦、打越峠に下り、少し登り返して七兵衛山に到着。ここの山頂は眺めがいいので登山客で賑わっていることが多いのですが、この日は私達だけの貸し切りでのんびりとランチタイムを過ごせました。曇り空でしたが、眼下の六甲アイランドの他、金剛葛城や紀泉の山々、淡路島も見渡せました。

昼食を終えて再び出発。「オタマジャクジいっぱいいるかな〜」なんて話しながら横池に向かいます。まず雌池に到着。小さな池ですが岩の島と立ち枯れの木が池の中にあってとてもいい雰囲気でした。雄池の方に移動すると大きな池の中に睡蓮がたくさん咲いていました。雌池にも少し咲いていましたが、今頃がシーズンだという予備知識がなかったのでびっくりしました。風の影響か登山道の反対側に偏っていて近くで見られなかったのは少し残念ですが、いいものが見られて良かったです。残念ながら両方の池ともオタマジャクシはいませんでした。その後、風吹岩・金鳥山から保久良神社を経て朝出発した岡本駅に戻りました。

久しぶりの雨のハイキング、楽しかったですよ。